

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議長 大石 節雄  
島田市議会議員 井上 篤  
島田市議会議員 大関 衣世  
島田市議会議員 桜井 洋子  
島田市議会議員 堤坂 大介  
島田市議会議員 村田 千鶴子  
島田市議会議員 八木 伸雄

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和4年5月21日（土）  
午後7時00分～午後8時30分
- 2 会場 六合公民館・第1・2集会室
- 3 参加者数 15人（男性 15人、女性 0人）
- 4 役割
  - (1) 受付 全員
  - (2) 司会 村田
  - (3) 挨拶（概要） 大石
  - (4) 報告 厚生教育常任委員会等 堤坂  
経済建設常任委員会等 八木  
総務生活常任委員会等 大関
  - (5) 答弁 全員
  - (6) 記録 井上

## 5 報告事項

### (1) 議会の活動の動向の市民への報告について

#### ① 厚生教育常任委員会

- ・ 令和4年度一般会計予算 重要案件について  
ひとり暮らし高齢者緊急通報システム事業、病児および病後児保育事業、就労準備支援事業、家庭児童相談室運営事業、島田第一小学校改築事業
- ・ 令和4年度特別会計について

#### ② 経済建設常任委員会

- ・ 令和4年度一般会計予算 重要案件について  
がんばる認定農業者支援事業、森林環境整備促進事業、リノベーションまちづくり推進事業、島田市観光協会補助金、狭あい道路拡幅整備事業
- ・ 島田市東海道金谷宿お休み処条例の廃止について
- ・ 島田市都市計画川越し街道周辺地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

#### ③ 総務生活常任委員会

- ・ 令和4年度一般会計予算 重要案件について  
地域公共交通計画策定事業、移住・定住促進事業、デジタル変革推進事業、空港周辺プロジェクト推進事業、ふるさと寄付金推進事業
- ・ 島田市行政組織条例の一部を改正する条例について
- ・ 請願1号「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書」の提出について

#### ④ 報告に対する質疑

- ・ Q 森林環境譲与税の使い道について当局からの報告は何かないか。  
A 当局より公共施設に木材を利用していくために基金への積み立ての話があるが、委員よりそれは別財源でよるべきで、里山づくりに生かすよう要望をしている。
- ・ Q 通学路の危険箇所を安全にするための要望をしてもなかなか実現されていないことに対してどのようにフォローをしているか。  
A 各議員、委員会、議会として、できる限りの予算を要望している。

### (2) 意見及び情報の交換について

#### 今回のテーマ「ごみの減量化」

大石議長より「ごみの減量化」をテーマとした理由を説明。

- ・ 近隣市町と比較して、ごみの排出量が多い。
- ・ コスト削減に向けて、減らしていきたいことと、ゼロカーボンシティに向けて二酸化炭素の排出量を減らすことを求められている。現在市では、問題解決にごみ処理の有料化を検討している。市民の負担が増えることであり、ごみの減量化やリサイクルで対応できるかなど、今後の議会活動の重要課題として位置付ける可能性があるのでテーマとして選定をした。

大石議長より資料を説明。

- ・ごみの処理量や、ごみの内訳、周辺市町より 1.3 倍ほど一人当たりの処理量が多いことを説明。生ごみの水分を半分にすると 52g 減量。人口減少をしても比例してごみ処理費用が減らないことなどごみ処理の現状を説明。

自由な意見交換・質疑

- ・現状は、理解する。水切りをするならネットを使うなど、分別するなら分別の方法など具体的な方策を市民に理解しやすいように、伝えるべきではないか。

→ご意見はそのとおり。呼びかけているだけではなく指導する必要がある。町内会でごみの内容調査を行うときなどにも、ごみの減量を考える場として市民にも考えていただく必要がある。

- ・ガス化溶融炉だとまとめて処理できてしまうことが、リサイクル意識の低下を招いているのではないか。市民の意識改革の必要があるのではないか。

プラスチックを分別することにより、燃料化などリサイクルすることができる。全てガス化溶融炉で処理するのではなく、資源として使えるものは前処理をすることでごみ処理費用を削減できるのではないか。

→川根町では、合併前は分別をしていた。分別をしなくなって楽になった今、再び分別をすることは、大きな意識改革が必要。市民の満足度として、ごみ処理が一番良いと言う意見がもっとも高い。そのような意見も考慮しつつ考えていかなければならない。

- ・有料化することは、ごみ袋を有料化する事と思うが、ごみ袋が販売店によって値段が異なるのはおかしい。平均価格で、市役所等で売らすべきではないか。

→島田市は、ごみ袋で利益を上げていない。各事業者の努力により価格が異なる。

(司会) ごみ減量で工夫を行っている取り組みがあればご意見をお願いします。

(議員) ・畑で生ごみを処理している。

- ・段ボールに雑紙をためて、一定程度たまれば、古紙回収業者に持ち込みティッシュ等に変えてもらう。

- ・紙を回収する運動をしている団体もある。

- ・ごみをなるべく出さない生活も大事なこと。

(市民) ・島田市より、藤枝市の方が一人あたりのごみの量が少ないのなら、その分析を行い島田市に取り入れることができるのではないか。

- ・静岡県の西部地域はごみの減量が進んでいる、その取り組みとして、ビンを購入した店で回収してリサイクルする取り組みがされている。

- ・藤枝市の取り組みとして、ごみを回収所に持っていくことができない世帯のごみを回収してくれるサービスが行われている。島田市でもやってもらいたい。

### (3) 市等への要望事項

- ・ Q 業務の効率化について、部や課をまたぐと連携が取れていない。例として、道悦島応援隊の活動として高齢者世帯の草刈りや剪定で出たごみを焼却所に運んだときに、他人の家から出たごみは持ち込まないルールがあり、福祉活動でのごみの持ち込みをルール変更で認められるのに5年もかかった。環境課、社会福祉協議会など部署間で話をすれば時間がここまでかからないはず。  
A 当局ではないので応える立場にはないが、議員として広い視点で当局働きかけていく必要を感じる。
  
- ・ Q コロナ禍で、学校行事も中止が相次ぎ、学校での資源ごみの回収等もできなかった。そのような特殊な事例もあったのではないか。  
子供たちが、登下校、放課後に安心安全で楽しく過ごせる環境づくりをお願いしたい。  
A 子供たち安全に安心して暮らせる街づくりを目指していくのでご意見ありがとうございます。

## 6 まとめ（所見）

ごみ減量問題について、活発な意見が出て市民の関心の高さが伺われる。取り入れることが可能な意見は速やかに取り組んでいくべきだと考える。また、テーマ以外のご意見も部署間の連携など課題となるべき意見も出たので活動に反映していきたい。